

# キンスポ

2輪専用サーキット  
近畿スポーツランド  
情報発信紙  
秋号(第8号)  
Tel(0774)88-3633  
<http://www.knspocm>



2016  
KSLガール  
綾瀬奈々(左)  
村上マリエ(右)  
皆さんよろしく  
お願いします  
◁m( )m▷

## 小西良輝記念 近畿スポーツランドロードレースシリーズ第2戦 猛暑の中、盛況に開催！ MGPを制したのは、大会史上 UNO-P以外の唯一のチャンピオン(2013) 埜口遙希！

去る8月7日(日曜日) 2016小西良輝記念 近畿スポーツランドロードレースシリーズ第2戦が無事終了した。全17クラス、総エントリー台数162台という大盛況で、灼熱の天空で熱いレースが展開された。初開催のグロムカップ、特別開催の17インチクラスも開催され、グロムカップ最初の勝者は楠選手、そして17インチクラスは津田、前田ベテラン同士の激闘の末、前田選手が勝利した。そしてハイエドクラスMGPではロードレースに参戦中のハルキ事、埜口遙希が1年半ぶりにスポット参戦し、番長UNO-Pを倒し、見事に勝利した。各クラスのライダーにむけて、場内からは惜しみない声援、拍手がこたえました。そして、特筆すべきは、我らがコニー、小西良輝氏が、プロライダー引退後にパイロットとなり、キンスポ上空に飛来！ まさに凱旋飛行を披露してくれ、夏の天空に大きな花を添えてくれた。次回はいよいよ最終戦KTC杯！ 今年は各クラスのチャンピオン争いも白熱しており非常に楽しみだ。決戦は10月23日(日曜日) 舞台はもちろん天空のサーキット！ 近畿スポーツランドで開催だ！(各クラス詳細レポートは5面)



56レーシングで活躍する埜口が貫禄すら感じる勝利！



↓ 早朝よりミーティング！ そして集合写真！



### トビックス

最強伝説男！コニーが空からキンスポ輪つぎきた！

元プロライダーで、3度の全日本チャンピオンに輝いた、キンスポ名誉会員の我らがコニー事、小西良輝氏が第2戦小西記念の大会当日に、天空のサーキットのさらに天空より飛来！上空を約15分にわたって旋回飛行を披露してくれ、参加者の皆さんを激励してくれた。引退後、航空身体検査をパスできるように耳の手術を受け、単身関東に住み飛行学校に通い、見事に事業用パイロットの資格を取得！だが、年齢を理由に就職活動は困難を極め、他の仕事をしながらやこ挿んだパイロットの仕事！まさに、我々の想像を絶する努力と苦悩を乗り越えたコニーがキンスポに凱旋飛行に訪れてくれた。会場もコニーに大きく手やタオルを振つてきた！だが、小西良輝の目標は高く！彼の挑戦はまだ続く！Goforitk.com



キンスポ到着！左上のはげた部分がキンスポ！えらいとこにあるな〜(´Д｀)



**BOSCO MOTO レンタルギア**  
BERIK レーシングスーツ・ブーツ・グローブの貸し出しスタート!

ベールック・アレンスブランドの購入を検討されている方で実際の着心地を試したい方初心者の方やレースを始めたいけど未だ購入されていない方一度サーキット走行を体験したい方、ツナギを修理中の方、ツナギを忘れた方、エンジンジョイレースに参加したい方、体験走行企画の参加者の方やツーリングイベントやレース体験イベントの参加者等々……お気軽にご利用下さい。詳しくはHPを！ご予約・お申込みは お電話で！ 0774-88-3633

●特集!

津田兄弟! ロードレーサーとしてさらなる飛躍を!

私がキンスポ代表に就任した当初、閑散としたキンスポで、決して綺麗とはいえないMH80でひたすら練習するライダー2人...その正体は、既に国際ライダーとして活躍していた津田兄弟だった。 当時も現在もよくキンスポに練習に訪れていた2人。 兄拓也、弟一磨、お互いに切磋琢磨し、現在も第一線で活躍する2人を近畿スポーツランドは陰ながら応援しています。 すでにレース界でも有名な2人だが、あえて今回皆さんにご紹介させていただきます。

●氏名 津田拓也 (つだ たくや)

●年齢 31才

●出身 和歌山

●所属チーム ヨシムラスズキシエルアドバンス

●参戦レース 全日本JSB 鈴鹿8耐

●趣味・特技 サイクルトレーニング、プラモ、温泉

●キンスポについて レース始めた当初からずっと走らせて頂いており、自分の調子を図ったり、スキルアップするにはもってこいのサーキットとして今もお世話になってます!

●ファンにメッセージ 近畿スポーツランドで会った際は気軽に話しかけて下さいね!



名門中の名門 ヨシムラでエースを務める! 2015 モーターサイクルショーにて



※写真提供 大西としや (近スポ公式カメラマン)



心機一転全日本、8耐でさらなる活躍に期待 2015 モーターサイクルショーにて



※写真提供 大西としや (近スポ公式カメラマン)

●氏名 津田一磨 (つだ かずま)

●年齢 28歳

●出身 和歌山県

●所属チーム AKENO SPEED YAMAHA

Team HOOTERS with 斉藤祥太

●参戦レース 全日本ロードレース選手権 ST600クラス 鈴鹿8耐

間耐久ロードレース選手権

●趣味・特技 自転車レース・ストローを2倍くらいの長さに伸ばす事。

●キンスポについて 様々なコーナーのレイアウトがあり、とても練習になります!ミニバイクでの走行はもちろん、4スト250ccまで走行

可能で、大きいサーキットで600ccや1000ccに乗っているような

感覚で練習出来る事で、色々な事を試してからビックバイクでの走行に

フィードバックする事が出来ています! それから売店のお弁当が最高

に美味しい事も魅力の一つです!

●ファンにメッセージ キンスポさんで練習させてもらっている事をし

っかりいかして後半戦の全日本選手権は勝てるように頑張ってください

す! ご声援よろしくお願ひします

★津田兄弟オフィシャルサイト

<http://tsuda-bros.jimdo.com/>



ある日のこと事務所に溜まった古い書類を晩秋の天空のサーキットで、償却処分しようとしていた。  
古い会員申込書やレースレギュレーション…膨大な紙や  
はがき等々…まとめてオイル缶を焼却炉代わりに、色々  
な書類に目を通す。あゝこんなレースもあつたな、こん  
な資料も作つたな、など、ノスタルジーに浸りながらも  
せつせつと炎の中に吸い込まれ黒く変色していく紙々…  
そんなとき、一枚のハガキに私の作業は止まつてしまつた。  
そのハガキをじつと見つめた私は、当時の事を思いながら  
その場に立ち尽くしてしまつた。

一枚のとある少女からのハガキ…あれは今から何年前  
だろ？ キッズレースセロファンカップが終了し、残つたキッ  
ズクラスをキンスポ杯で引き継ぎ、多くの子供たちがキ  
ンスポ杯前に一生懸命練習に訪れてきたころのこと  
2005年から2006年の頃だと記憶している。

一人の少女がキッズバイクでキンスポに通つていた。  
年の頃なら7、8歳頃で、おとなしく控えめな女の子だが、  
芯が強く、一生懸命に日々練習に励んでた。お父さん  
もライダーで、あまり多くお話しする機会がなかったが、  
お母さんも一緒に家族3人で毎週のようにキンスポに來  
てくださつてた。その家族は仲睦まじく、本当に幸せ  
そうであつた。楽しそうにモータースポーツを満喫してら  
した。

時を同じくして鈴鹿サーキットで、鈴鹿ミニモト4時間耐  
久が始まり、ライトバイクでの国際コースのレースがは  
り始めた頃で、私も注目の鈴鹿に視察に向つた。沢山  
のキンスポのお客さんが参加して、このままキンスポ  
に誰も来なくなるんじゃないか？ なんて不安に駆られ  
ながらもレース観戦する中、ピレエロードにふと目をや  
ると、あの少女のお父さんの姿が眼に留まつた。オープン  
クラスに参戦しておられた方であつた。車両がどうやらトラ  
ブつたらしく、ピレエレーンからピレエに戻すために一人  
で押しておられた。それは、たまたま見かける光景ではあ  
るのだが、私が気になつたのはその形相だつた。鬼の  
形相というか、顔から異常なほど吹き出る汗…そして、  
苦しそうで、苦しそうで、でも一点を見つめ一心不乱にマ  
シーンを押すのだが、足元がふらふら

き、今にも倒れそつな状態だつた。確かに上りだし大変  
だけど、あそこまでなるかな？ と不思議な気持ちになつ  
た。なぜか、その姿が今も忘れられず私の脳裏に残つて  
いた。

そして間もなくしたある日、少女のお父さんが亡くなつ  
たことを知らされた。 癒だつたそう。

私の中で、ミニモトのあの苦しつな表情の理由がよう  
やく理解できた瞬間だつた。 自らの命の時間を知りな  
がら…いや知つてゐるからこそ、あそこまで一生懸命に  
まさしくその言葉通り、一生の命を懸けた様だつたのだ。  
だから私の脳裏から消えない表情だつたと理解した瞬間  
に、私は涙をこらえきれなかつた。 葬儀の事を他のキ  
ッスの親御さんに聞き、私も末席に加えていただき、深  
く、深く冥福をお祈りさせていただいた。そしてしば  
らくしてこのハガキがキンスポに届いた。 少女からの  
葬儀参列のお礼状だつた。 そう、お父さんの一生懸命は  
少女の心に深く刻まれたことだろ。 それから少女の  
姿は見えないが、あれから10年立派な女性に成長し  
てゐるであらう。あの少女の幸せを祈らずにはいられな  
い。 きつとお父さんは今も彼女の中に生きてゐるはず  
だ。

前略、

先日はお忙しい中わざわざ  
お父さんのそうごぎに来てくれて  
ありがとうございました。  
お父さんはすばらしいものをたくさん  
のこしてくれました。これからあなた  
の心の中で、パパは生きています。  
いつまでも、キソいます。だからわたしも  
がんばります。  
本心よにありがどうございまして。今後はどうもよろしくお願い致します。

今を全力で楽しむこと、努力することが大切。  
時間を平等に与えられない世の中なのだから。

●特集2!

66歳まだまだ現役!というか新人!キンスポが会員最年長  
 生田博信(イクタ ヒロノブ) 選手

昭和25年1月24日生まれの66歳  
 1000円札が発行された年にお生まれになった生田さん。レースを始めたのはなんと大手電機会社を定年退職した60歳の時、地元宇治田原に住みながら、キンスポの存在など知らないある日、近くのコンビニで、バイクを積んだ車庫を見て、どこに行くの?と尋ねると、すぐその近畿スポーツランドと聞かされ、興味をそそられ見学に。そのとき感動し、一念発起! 色々調べNSR80を手に入れ、装備もそろえてキンスポへ! 最初は何もわからずに途方に暮れていた時、大西塾の民谷さんに声をかけられ色々教えてもらいながらNSR80ではOPクラスしか出られないので、NSR50を布施川君(初代Moto4チャンピオン)に紹介してもらい本格的なレース活動に。その後RSハミンに入会し、ナホコ先生の指導により、メキメキと実力をつけることに。なんと60歳を超えてから3度の骨折や手術を経験しながらもめげずに続けているモチベーションの高さには、キンスポスタッフも脱帽! 今の目標はルーキークラスからM3に上がるために日々努力している。奥様も最初は心配していたようだが、最近ではあきらめ顔笑。第2の人生を精一杯楽しんでいる生田さんこれからも益々上達して、レースライフをエンジョイしてください!



人生では師匠だがバイクでは彼が師匠! 布施川選手と



開幕戦 10月23日(日) 開催!

KTC杯 近畿スポーツランドロードレース シリーズ 2016 最終戦

HRC GROM CUP始動!!

一走入魂! この走りに全てをかける!!

- レディースクラス新設!
- 4スト125cc(グロム等)のレギュレーションが変更!
- 第2戦特別開催クラスは17インチクラスです!



☆ネット・現金書留・事務所

最終エントリー締め切り10月16日(日)迄!

近畿スポーツランド公式ホームページからエントリーできます!

☆夢中になれるから楽しい! 悔しいから上達する!

スプリントレースしませんか?

ホームページ <http://www.kinspo.com/>



観戦歓迎! 入場料中学生以上お一人500円必要です m(\_\_)m

### 小西記念 各クラスレポート

#### ●ジェネレーシヨンクラス

オーバー40歳限定の制限タイム45秒までのジェネレーシヨンクラス。このクラスの予選は無く、若造は後方グリッドになり人生の先輩は前方のグリッドを獲得でき、年齢順にグリッドを決定する。今回は9台の出走となり、平均年齢47.8歳のシルバークラスの始まりだー全車綺麗にスタートを切り、2番グリッドの河合がホールシヨットを決める。以下、Mホボ、Mマヨシオカ、小松河田の順で、周目をクリア。後方8番グリッドからスタートのMホボが驚異的なスタートダッシュで、周目に1コーナーで河合を捕え、トップに躍り出る！ 同様にMマヨシオカをスタートエンドで小松がパスし3番手に浮上。このクラス最年長のPスタートの河田だが、序盤のペースが上がらず後退をしてみつ。5番手に丸野、6番手フリーザの順位で中盤を消化していく。トップ争いは、後半セクシヨンが良い河合は、ホボと間合いを詰め、1コーナー、2コーナーで仕掛けるが、ペースまでは至らない。膠着状態のまま迎えたファイナルラップ！一番の勝負所である1コーナーのブレーキングでホボのインサイドにマシンを振った河合だが入りきれず勝負あり！



優勝 Mホボ



準優勝 河合真一



3位 小松健治

#### ●レディースクラス

今季から初開催となる女性たちの熱き戦いレディースクラス(制限タイム45秒)。今回は2回目の開催となり、6台のエントリーを頂いた。グリッドはくじ引きで決まり、PPは河田、大宮、北川、中本、Kaorin、小野の順番でレーススタート！綺麗にスタートを切った全車だが夫婦で参加してくれている河田の加速が鈍り、集団にのまれてしまう。一方、5番グリッドのKaorinはスタート直後の1コーナーの混乱を見るやいなやアウ

ト側にラインを取り、大外回りで1コーナーをクリアし、2コーナーでインに入り見事にジャンプアツに成功し、トップに立つ2番手に前回タイヤ交換で手間どりとスタートが出来なかつた北川が付ける。その後方、河田、中本、小野の3台でのバトルを展開。前半の良い中本に対して、後半が得意の河田が集団の先頭をキープし、小野が中本にヒタリと付ける。河田に手を焼いている中本に肉食系女子小野が5周目に1コーナーで中本をパスし、河田に襲い掛かるが、河田もスタートし逃げ切りを計る！トップ争いはジェネレーシヨンクラスの男性陣を次々と食っていく2人に絞られた。最終トップをキープしているKaorinは毎週1コーナーで勝負を仕掛ける北川だがブレキ勝負では苦しい展開で、前に出ることが出来ない。テルツノーズで迎えたファイナルラップ！インを狙う北川に対してキツリとアウト側から抑え、トップをキープしチカラ見事、女子力No.1に輝いたのはKaorin選手、2位北川となった。



優勝 Kaorin



準優勝 北川 章子

#### ●キッズクラス

キッズクラス決勝4台と少し寂しい台数ながら開幕戦を制した森田がポールで、2連勝濃厚！これを追う2番グリッドの鈴木との一騎打ちの様相だ。レース序盤から森田がトップ！それを鈴木が追うが、森田絶好調で単独走行に！

怪我で第1戦の欠場を余儀なくされた去年のチャンピオン濱嶋が3番手、長内4番手の展開でレースは流れていく、トップ快走の森田を必死に追う鈴木だが、森田にギリギリと離されていき、森田トップ単独走行に！誰もがそのまま森田がトップでフィニッシュすると思いが始めたレース残り3周の2コーナーで、なんと森田が単独で転倒！ やってしまった~~~~！森田最下位に、思わぬ幸運が転がり込んできた鈴木はこのまま走り切り優勝！2位濱嶋そしてなんと3位に森田、長内という結果になった。これによりランキングは3ポイントで鈴木がトップに、それを森田が3ポイントとわずかにポイント差で追いつ展開となり、最終戦が事実上チャンピオン決定戦となる。鈴木か？森田か？

#### ●バトルウォースクラス

異種格闘によるポイント制レース。レース順位のポイントに車両ハングの係数をかけて総合ポイントにて順位を決定する新しい形のレースだ。今回は、全7台で決勝の火蓋が切られた！



優勝 鈴木 壮大



優勝 民谷 賢司



準優勝 死神 博士



### ●ルーキークラス

老若男女さまざまライダーが走行する、初心者向け制限タイム49秒のクラス。今回は6台での決勝レースがスタートされる！良いスタート決めたのはPPFの河田だ！親子で初参加をしてきている3番グリッドの神谷吉星は少し出遅れてしまった。河田が前に抜け出し、後続は横一線で1コーナーに進入していく。同レースに参加している神谷父は2番手の好ポジションに付け、以降、今大会最年長6歳の生田初参加の大宮大病から復帰した竹下神谷吉星と続く。スタートこそ失敗し最下位まで落ちてしまった息子吉星だったが、毎周回ポジションを上げていき3番手まで浮上する！しかし、クランク進入で生田と接触してしまい両者転倒を喫してしまふ。お互いケガは無く、生田はレース復帰したが、吉星はそのままリタイア。ほろ苦しいレースデビュー戦となりました。レースは、スタートに成功し後続を離し河田がトップでチェッカーを受けた。2位に息子は転倒リタイアしてしまふた神谷父となった。



優勝 河田 優枝



準優勝 神谷 浩之

### ●Motor4クラス

4ストロークミッドジョン限定で争われるチャンピオンシップMotor4クラス。8台のエントリーだが、田村が怪我、山極が車両トラブルで欠場となり6台でのスタートとなった。ポールの下がホールシフトから快調にトップを快走！2番手野村、3番手森田以下彌榮、後藤田、布施川と続く。序盤野村は下に仕掛けるもののあつみの返されてしまい、中々に前に出られない様子。そして森田がペースの上がない野村をかわし、2番手に浮上！最近急激な成長を見せる森田は、下を捉えようと必死で追うが、ベテラン下もスキのない走りで、周回数だけが増えていく。ベテラン下を4人のジュニア若

手が追うが、そのまま下が賞祿の逃げ切りで見事に2連勝し、チャンピオンに王手をかけた。2位森田、3位野村、以下鹿兒島の彌榮、後藤田、布施川となった。



優勝 下 雄飛



準優勝 森田 勇希

### ●Motor4Nクラス

Motor4クラスのノービス版。Motor4Nクラス(制限タイム45秒)いつも不開催となっていたが、今回は4台集まったので、初開催となった。今大会はGROMクラスと混走でのレースとなる。ウォーミングアップラップが開始されよつとしていたが、PPFの水池のエンジンがかからない。ピットロードに誘導し再度始動を試み何とかエンジンに火が入った。全車整列の前だったのでグリッドに間に合い無事にスタートとなる。良いスタート切ったのは、あのトラブルはなんだっただ？PPF水池間にGROMを挟み鈴木ミルキーン、イノウエで1周目を消化。3周目にGROMをパスし、TOPの水池を猛追する鈴木が6ラップ目に追いつきテールツノースとなる。一気にバトルに発展するかに思われたがあと一步の差がなかなか埋まらない。序盤の無理な追い上げでタイヤに負担をかけたのか？水池の様子をつかがついているだけなのか？残り周回が僅かだが、鈴木がペースが上がらない。むしろ水池のペースが上がリスタート掛けている。そうこうしているうちに迎えたファイナルラップ！そのまま水池が鈴木から逃げ切り、見事TOPでチェッカーを受けた！



優勝 水池 成弘



制限タイム46秒5までのM3クラス。予選後などのクラス変更などあり18台でのスタート！まだNSFに乗り換えて間もない2番グリッドのジュニア岡村がややクランチミートが上手くないが、出遅れたかに見えたが、軽量の利を生かして元のポジションまで挽回する。スタート直後の1コーナーでM&Mシオカ、周田2コーナーで良い所に付けていたイノウエ初参加の川端が相次いで転倒し戦線を離脱してしまふ。トップ争いは、PPFスター



優勝 佐野 勝人



優勝 仲泉 霞皇

### ●CBRR250Rトリムカップ

昨年より開催されているCBRR250Rによるワンメイクレース。ラッキング上位2台には鈴鹿グランチャンの切符が贈られる。今回はエキスパート4台、ビギナーは1台の混走別賞典レースとして開催。ポールは佐野家弟の勝人！開幕戦勝利した兄の優人は予選からマシンの調子が悪く、なんと4番グリッドからのスタートとなった。素晴らしいスタートからオープニングを制したのは2番グリッドスタートの吉田！2番手勝人、3番手古高、そして優人というオーダー。勝人はトップの吉田に張り付き、激しいプレッシャーをかける。また、優人も若干調子を戻し、古高に襲い掛かり3位に浮上。4周目1コーナーで、勝人が吉田のインを捉えてトップに浮上！優人が吉田を追撃するかと思われたが、やはり本調子ではなく、古高を押さえるのが一杯といった感じで、このまま佐野勝人が独走で見事に優勝！2位吉田、3位佐野優人、4位古高という結果に。また、ただ一人ビギナークラスで参加してくれた仲泉選手も転倒しながらもレースに復帰し、見事に完走を果たしてくれた。今回の結果により、ポイント争いも非常に肉薄することになる。佐野兄弟が20ポイントで同率！それを同じく17ポイントで吉田と古高が追っ展開だ。4人全員にチャンピオンの可能性があり、最終戦が非常に楽しみなクラスとなった。

とが少なくなったYAMAHA車T250で参加の江野も食い下がる。そして両者とも制限タイムを切つてしまい名譽の賞典外となった。これで事実上のトップはジエネレーシヨウクラスにも参加してきている丸野だ！ただ丸野も前走車2台を追いかけている中で制限タイムを2度切つているのでリーチがかかっている。後方では、河野ミルキー 森上 星本の4台で2番手争いが熾烈となっている。5周目のストレートで後ろをチラッと見た河野にミルキーが襲いかかる！サイドバイサイドの接触ギリギリで1コーナを立ち上がる。ミルキーが前に出たかに見えたが、まだ河野が前だ！その後ろを走行していた星本もプッシュするが、2コーナそしてクランク出口でリアを大きく滑らせオーバerranをしてしまい前との間隔が広がってしまう。これで表彰台争いは河野ミルキー 森上の3台に絞られ、迎えたファイナルラップ！ブロッグラインでブレーキを遅らせる河野だが、やはり突っ込み過ぎで1コーナのラインをはずしてしまう。ミルキーが前に出るチャンスだったが、ミルキーもラインを外し、はらんでしまい万事休す。見事トップでチェッカーを受けたのは、丸野選手 2位河野 3位ミルキー 4位森上 5位星本となった。

優勝 丸野 公義  
準優勝 河野正純  
3位 ミルキー



4位 森上 航也  
5位 星本 浩基



### ●M1 17クラス

特別開催クラス！17インチフルサイズノーマル限定のクラスで、初開催となる。8台のレースとなった。予選ポールは下馬評とおりベテラン津田選手！スタートでキンスポNO1の選手！今回のレースへの意気込みはかなりのものだ。そしてそのライバルになるであろう、番グリッドは前田潤選手！彼もまたベテランで古くからライオンチ一本で勝負するファイターだ。3番グリッドはトリプルエフトリのターミネーター永田。以下ベテラン前田伸一、畑 愛知から初参加の伊藤 岡山から井上、千葉から女性ライダーの千葉と遠征組も参加いただき、いよいよスタート！素晴らしいスタートを決めたのは、2番グリッドの前田潤！ポールの津田は若干だが出遅れてしまい、番手に畑以下永田、前田伸、千葉、井上、伊藤というオーダーで1周目を終える。

出遅れた津田だが、トップの前田にもすごい勢いで迫り、ヒタリと付ける。序盤にインに切れ込みオーバerranを試みるも、前田も一歩も引かない！まさしくドッグファイトが展開される。ベテラン同士のハイレベルでキサイエテングなトップ争いに場内も固唾をのんで2人のバトルに見入っている。若干はなされてしまった津田は冷静にレコドラインをトレスしながら再び前田との間合いを詰め、次の機会を伺う。3番手争いもし烈で、前田伸と永田の激しいバトルが繰り返されている。激しい気力と気力のぶつかり合いとなつたトップ争いはファイナルラップまでもつれ込んだが、トップを死守した前田潤が見事に僅差で逃げ切り優勝。津田が2位となった。3位は永田とのバトルを制した前田伸が入った。ベテランファイター同士の素晴らしいバトルに場内から惜しみない拍手が2人におくられた。



優勝 前田 潤



準優勝 津田 徹



### ●M2クラス

今大会最多の台数となった制限タイム4.5秒までのM2クラスこちらも予選後クラス変更などで21台となり決勝のスタートが切られる。予選1位の堀井がスタートミス！幾度とスタート練習をしていたが、ギアが1コーナに入っていた為、大きく順位を落としてしまう。ホールシフトGETは、今回もトリプルエフトリの鉄人M.F.ポボだ！2番手は3列目から躍り出た田中、以下 皆川 西村 前川 田内には堀井の順で大きな混乱も無く1周目をクリア。上位陣は、M.F.ポボ 田中西村 皆川 田内 堀井のオーダーだが、ペー入が速い。4周目時点で上位の大半が4.4秒台で周回しており、この6台は見事に賞典外となる。実力のあるライダーばかりなので次戦はM1クラスで戦って欲しい。事実上現在のトップは、57車両の前川。少し離れてM仕様APEには高原 河合の3台。そして直前のM.F.ポボクラスで優勝した水池 小原 川村と続く。5周目のストレートエドではには高原がパスして番手に浮上！続いて翌周には河合にもブレーキングで並ばれるもリリスを早くし、2コーナでは順位を死守。にはには、ペーの速い高原は諦め、今の順位をキープする作戦に切り替えたようだ。ここから当人達は知らないだろうが事実上の表彰台の椅子をかけて熾烈なバトルが展開される！幾度となくインにマシンを捻じ込む河合だが、ブレーキングの鋭いにはこの前に入りきれない。河合にとっては猛暑の中での2レース目となるM2クラスの終盤は体力との戦いでもある。残り周回わずか！ストレートで完全に真横に並んだ！これは河合が獲つたかに思われたが、にはにも諦めず並走のまま1コーナをクリアし、2コーナではイン側をにはにキープする！迎えたファイナルラップは手を出す事が出来ずチェッカーが降られた。

ある意味混乱のレースとなったが、1位でチェッカーを受けたのは終始単独でトップをキープした前川、2位伸び盛りの高原 3位にはには 4位河合 5位水池となった。



優勝 前川 祐樹



準優勝 高原 太陽



3位 ばにばに



4位 河合 真一



5位 水池 成弘

### ●M1クラス

上位3台には、大トリM系4クラス最高峰M1GPクラスへの挑戦権が与えられる制限タイム4.3秒5までのM1クラス。まさに老若男女が入り乱れ、誰がM1GPへのキップを手に入れるのか？ 実力が拮抗しているが故に予想など誰しもがする事が出来ない中、全16台でスタートのシグナルが消灯される！ 2番グリッドから抜群のクラッチミートをし、ホールシヨットを決めたのはM17クラスで優勝した前田潤だ！そして前田伸一本曰3レース目の永田のM17車両がトップ3を占める！ 以下、正垣 友田 岡村 山本 渡辺と続く。

2周目に友田が1コーナーで岡村に、3コーナーで山本にパスされ7番手までポジションをダウン。突然2コーナーでトップ快走中の前田が失速。そのままエスケープにマシンを停めた！なんと2戦連続でマシントラブルによりリタイアとなってしまう！ それを見るや同じ前田の前伸がスタートをかけた永田との差を広げて行く！ 永田も追い上げ態勢に入りたいが3レース目の影響か中々ペースが上がらない！ そうこうしていると後続の正垣 岡村が追いつき三ツ巴のバトルに発展。1周目に岡村が正垣を1コーナーブレーキングでパス。しかしクロコスラインで2コーナーで勝負を仕掛けるがあと一步届かず岡村に先行を許す。バトルをしている間に永田と離れてしまったが10周目に追いつき、運命のファイナルラップに突入！ 勢いそのままにストレートエンドで並びブレーキング勝負に出る！ しかし永田もレイトブレーキで迎え撃ち、ジュニア岡村を阻止する！その際に失速した岡村に最後のチャンスにかけていた正垣が2コーナーで岡村のインサイドに滑りこみますが、入りきることが出来ず勝負あり。独走1位でチェッカーを受けたのは前田伸一、2位永田、3位岡村、4位正垣となった。



優勝 前田 伸一



第3位 岡村 空青

### ●HRCCグロムカップ クラス

今年の6月にHRCCから発売が開始された待望のNEWレシーングコンプリートマシンGROM。このGROMを使用したワンメイクで行なわれる「HRCC GROM Cup」が第2戦から開催された！ 次世代のレシーング車両といつこと注目を集めており、また初開催のGROM Cupの栄冠は誰の手に渡るのかなど、大注目のレースとなるのは間違いない！

ホールシヨットを決めたのは、初めてキンスポにこの新型GROMを持ち込んだ楠だ！そして2番手に久しぶりの参加した清水ミスターNSFと後藤秋田世と続く。スタートを若干ミスした後藤だが、すぐさま清水を2コーナーでパスし、楠を追いかける。GROMの発売が開始されてすぐさま車両を購入し、キンスポでいち早くテストを繰り返していた楠とレース開催2週間前に急遽参戦を決めた後藤との差が中々詰まらない。やはりテスト不足なのか車体の安定性が楠に比べ悪いように見える。しかし、長年NSFでキンスポを走りレース強者の後藤は、その中で時折アンダーが出てしまいがちな縁石に乗り上げるなど、セッティングが詰め切れていない状態のマシンを抑え込みファーストを出すがあたりは流石だ！だがタイムが安定せず、楠との差が終始縮まらなく



準優勝 永田 勝史



第4位 正垣 健太

チェッカーを迎えてしまった。栄えある第1回目のGROM Cupの勝者は、楠に輝いた！ 2位は後藤となった。今後もこの2人の戦いが楽しみだ！そして、3位清水、4位秋田、5位笹の順でゴールとなった。尚、GROM Cupに参加のライダーは、12月にツインリンクもてぎで行なわれるブランドチャンピオンシップ大会の参加権が与えられる。



優勝 楠 貴裕



準優勝 後藤 賢司

### ●NSF100HRCCライダー

茂木でのGCCの地方選として開催されている本クラス今回は5台での決勝！ ポールはジュニア筆頭の鈴木！そして、帝王楠原は2番グリッド3番グリッドは鹿角島のジュニア彌榮、ベテラン後藤、ジュニア吉田の順で決勝スタート！ 鈴木が素晴らしいスタートでトップ！楠原がビタリと付け2番手、少し離れて彌榮、後藤、吉田と続く展開に、2周目早くも楠原が激しいチャージを見せ、鈴木を捉えトップに浮上！しかし夏の午後大体重のNSFには非常に過酷な条件・・・熱ダレか？楠原のペースはそれ以上に上がらない4周目1コーナーで、鈴木にかわされてしまう。こうなると楠原にとっては非常にづらい展開・・・必死に追うが、周回数を重ねるにつれて熱ダレが少しづつ進んでいくと同時に、鈴木との差も僅かに開き始める。鈴木が見事に優勝しランキングも単独トップになりチャンピオンに王手！ 帝王楠原は2位フィニッシュで、同クラス連続チャンピオンに黄色信号が点灯した。3位は彌榮、以下後藤、吉田となった。



優勝 鈴木 悠大



準優勝 楠原 浩二

# FN4&FP

4スト125ccノーマルスクーター&2スト50cc準改造スクーターの激戦！今回は15台の猛者が集った。スタートからポールの民谷がオープンングラップを制すも、2周目になんと広島島の三浦がトップに浮上！民谷、死神という大御所を従えて、レースを引っ張る。以下、下瀬、中尾、藤田と続く展開に。しかし三浦の天下もつかの間、3周目に民谷にかわされてしまう。しかし、2番手キーブでなんとか死神を押さえて4位キーブ！中尾も必死に下瀬を追うが、以前のように簡単にはとらえられない。流石にほぼぶつければ本番で今回のレースにのぞんだレジエド死神は、三浦を中々パスできずにいる模様。場内も三浦の快走に、下瀬上が起こるかもしれないと思いはじめた。レース終盤の周目、なんと三浦のマシンが悲鳴を上げ、ストップ！ なんと持つてたさ・トナリン焼き付きにより、三浦のミニクルは持ち越してしまいました。レースはまたもや民谷と死神の二騎打ちとなるが、ファイナルラップに死神がリトバで入ると試みるが失敗に終わり、民谷が2連勝を飾った！ 2位死神博士、そして3位には下瀬がうれしい表彰台を獲得！ 4位は藤田までが入賞を果たした。中尾は悔しい5位に終る。以下高橋、トリプルエントリーの永田、静岡の矢部、望月、リトバーンというトップ10となった。



優勝 民谷 賢司



準優勝 死神 博士



3位 下瀬 達也

# OPクラス

主に排気量制限と安全基準を満たせば改造範囲が非常に広いOPクラス！ 迫力あるマシンが最大の魅力！今回は7台で争われた！ 今年は一ギョウシヨ変更でシングルカムしか許されないスクーターで参戦した長谷部が予選でなんと3.9秒26というコースレコードをたたき出し、ポール獲得にはスゲーの一言！ 2番手は前回優勝の野崎、3番手は去年のチャンピオンMポポー以下シムベツト岩倉社長、女性ライダーの田村初参加の中野、そして残念ながら畑選手はDNSとなりました。結論から言うと、決勝順位もこのままでフェニッシュ(笑)長谷部選手が2位に2.6秒もの圧倒的なアドバンテージを築き優勝！ 脱帽！ 唯一接戦戦になっていたシムベツト岩倉と田村菜美選手だが、

岩倉社長が逃げ切り4位、菜美ちゃん攻めきれずに5位となった。彼女の最終戦の活躍に期待したい！



優勝 長谷部 潤



準優勝 野崎 亮介

# MIGPクラス

ノーマル&ストップミッションライトバイク日本最高峰クラス！M系4クラスの最高峰！MIGPクラス決勝！ 全20人のファイナリストの熱き戦い！ 今回は久々の予選上位6台によるスーパーステージにより上位グリッドが決められた。やはりポールはキンスホ番長から日本の番長へ…？ 生存JUNOOP★そして、セカンドグリッドはなんとスペイン参戦での出場で、この青年がキンスホRRに帰ってきた。唯一番長を倒し、2013年のチャンピオンに輝いた埜口遥希、3番グリッドに2戦のフランクで久々参加のシムアラライダー細谷、4番グリッドにクリスタル、5番グリッドはシムアラ筆頭の鈴木、6番グリッドには帝王さる先生、以下とりお、今シーズン素晴らしい速さを発揮している下、徳島のシムアラ野村、鹿児島から参加の彌榮というトップ10でのグリッド。揃いに揃った役者まみれの決勝がついにスタート！ ホールシヨトはハルキが取った！ 2番手は番長、3番手に鈴木だ。次の2コーナーで、数台のからむ転倒があり、それで4位以下が失速… トップ3台が抜け出す形になった。4番手争いはさる先生とクリスタルのバトルに、少し離れて下、そして後藤田と続く…！ コーナーで番長がトップに見ながらチャンスを伺う展開に… 次第に別次元の速さを魅せる2台！ 番長の序盤スタートもハルキはママシのように食らいついてくる。流石の中盤にさる先生とバトルしていたクリスタルがコーナーで転倒してしまい、順位を落としてしまつ。トップをキープする番長にハルキは背後霊のようにハタバタに食らいつき周回数消化されていく。この2台のデスマッチに場内は最高潮に盛り上がりを見せる。そしてファイナルはファイナルラップの2コーナー。ハルキは進入でインをつく体制に入った瞬間に番長はそれを超感覚的に察知し、インを締めるかか、ハルキにラインはない！ が突っ込む…！ 当然接触！ ハルキはコーナー

出口で前1番長転倒ギリギリながら持ち直す！ がそのまま鉄の心臓を持つハルキが見事に凱旋勝利！ 番長敗れる！ 3位は見事に連続表彰台の鈴木がもちろん4スト最上位に！ 4位にさる先生、5位エブの下が入賞を果たした。6位にはなんと唯一の女性ライダーの後藤田が入った。これはハイエンドクラス女性ライダー最高位となる。以下クリスタル、野村、とりおギヤフクシー、森田となった。日が西に傾いたキンスホでは素晴らしい戦いを魅せてくれたすべてのライダーに対し、惜しみない拍手と歓声がいつまでも続きました。さあ、次回！ 今年最後のこのクラスをあなたは見逃すことが出来ない！ 決戦は10月23日の天空で！

# Don't miss it!

それにしても埜口遥希…認めたくないが笑間違いないキンスホ史上最高の才能を持ったライダーだ。



優勝 埜口 遥希



準優勝 UNO P



第5位 下 雄飛



第4位 さる先生



第3位 鈴木 悠大



小西杯  
フォトスナップ



# シリーズ飛翔 (若人よ！時代は厳しいがなんとかはだけ！(VOLT))

キンスポで練習やレースに励み、ロードレースに挑戦するライダーを紹介するコーナーです。第7回は田中歩選手です。

●氏名 田中 歩(タナカ アユム)

●出身 三重県 松坂市

●所属チーム トリックスターレーシング

●参戦レース アジアロードレース選手権 AP250

●ご紹介

キッズレースからキンスポに通っていた選手で、EXライダーから可愛がられ、又方枠の会員走行枠で厳しく鍛えられた。そのうちアユム大先生と呼ばれるように(笑)

シャイな性格だが、当時から素晴らしい素質があった。ST100の15歳以下のコースレコードは今も破られていない。アユム大先生のさらなる活躍に今後も期待！

●キンスポについて本人コメント

バイクレースを始めロードレースに上がるまで1番走り込み自分が育ったサーキットです。

●本人コメント

今年も去年に引き続きトリックスターレーシングからアジア選手権 AP250クラスに参戦しています。今シーズンは残り4レースとなりました。なんとか初優勝を飾れるよう頑張ります。応援よろしくお願いします。



## キンスポ杯 ライダーファイル VOL12



### ●プロフィール

氏名 中尾 伸長 (ナカオ ノブナガ)  
 年齢 38歳  
 趣味 人間観察  
 職業 鉄屋  
 好きな食べ物 アジリキのハンバーグ弁当  
 特技 他力本願

本人コメント 打倒死神！打倒タミケン！

●10年近く前に突如ほこりだらけのパンクしたジョグをキンスポに持ち込んで復活？したノブナガ選手10代の忘れ物をサーキットに取りに来た感じの珍しい復活型ライダー！キッズの息子と一緒にキンスポに通い、大西塾に入塾してしまうことに・・・息子は飽きてしまうが、おじはぐんぐん実力をつけ、伝統のドクロメットを許されるほどの実力をつける！台湾製のキムコVJR125で苦勞しながらも打倒死神、打倒民谷と燃える！頑張れ戦うお父さんノブナガ！

年に一度の祭典 北川圭一杯  
 12月4日(日)開催！エントリー受付中！  
 詳しくはキンスポHPで！



39CUP! 10月30日(日曜日)開催!

<http://www.flex-racing.net/>



**色々 販売してます!!**



- B S 新品・中古タイヤ ● ワコーズ製品
- 純正パーツ ● ゼッケン ● 公式ステッカー
- インスタントラーメン (お湯・箸付き)
- 一休お風呂券 ● 売店 (阿治力)
- I S A スプロケット

新人デビュー  
カムバック組  
女性歓迎!

**Satellite Stage 2016**

**Satellite Stage**

R1 R2 R3

**5月1日(日) 8月14日(日) 11月23日(祝)**

3時間耐久 R48・60分耐久 R55 スプリント 新着グッズ、レギュレーション等、お気遣いお願いいたします

0123456789

販売店申込書は  
WebSite  
ダウンロードできます!

**HAPPY END**  
PROJECT

はっぴいえんどプロジェクト  
R50-0101  
奈良県生駒市高山町8531-2  
TEL/FAX 0743-79-9000

http://www.tkn.ne.jp/happyend/

11月23日(祝)開催!  
今年最後のサテライトステージ! 初心者、女性、カンパツライダーを中心としたレースで、最終戦はノーマルミッドヨ3時間耐久を軸に、R48耐久、カブ耐久、各種スプリントが開催! キンスポレースデビューにもピッタリのレースだ! エントリー締め切りは11月9日迄 レギュレーション申し込み用紙は近畿スポーツランド受付事務所に常備! 詳しくは はっぴいえんどプロジェクト <http://www.tkn.ne.jp/happyend/> 〇七四三七九九〇〇〇

**編集後記**

やつちゃんの独り言Z VOL.8

ども! 先日、足に激痛が! やりましたー遂に痛風になりました。マスタービールおかわり! 44歳になりました。 やすひこです。すっかり秋めいてきました。台風や雨で売り上げ激減(涙) 皆さん! 哀れな痛風おやじを助けてください。 さて、早くもキンスポシリーズも2016年最終戦を迎えます。一年は本当に早いですね。最終戦も全力投球で頑張りますのでよろしくお願ひします。今回は昨今のロードレースについての独り言です。私の仕事はロードバイクのレース場経営なので、ロードレースの事をとやかく言うのは外国の内政干渉みたいなものです。 がっ正直不公平が激しすぎるのでは? と思います。 お金のあるなし、世渡りのうまい下手、運、不運は当然どんなスポーツにもあるし、その辺は理解しているつもりなのですが、特にモータースポーツではその辺が他のスポーツより顕著なのもわかるのですが、それにしても不公平が激しすぎるのでは? と正直思います。 何年もキンスポを運営させていただいていると、やはり速くて実力のあるライダーは私でもわかりません、素晴らしい才能をもち、努力を重ねているライダーはよくわかります。ところが、ロードレースに挑戦すると埋もれてしまう場合も・・・ロードバイクとは性質が違つとはいえ、なんでこんなリザルトになるねん? 去年、おとしまでそれほどもなかった選手がいきなりそんなに速くなるもんなん? とか思ってしまったります。 業界の方もそれを是正するために色々努力されている事とは思いますが、正直見ている側からすれば、ほんまに強いやつが勝つスポーツしか入場料を払って見に行きたいとは思いませんよ! あるクラスのレースのリザルトを見ていると、お家の所得番付を見ているような・・・あつ 言ひすぎましたね。でも本心はそう思っています。 思つのは自由ですよ! 昔ですが、こんなライダーがいました。というか親御さんですが、ミニバイクレースに出場して勝ちまくらなければならぬと・・・それをメーカーだか、えらいさんに書類を提出して優遇されるために、ほとんど全て優勝で提出するにはレベルの高い選手権を避け、初心者や女性などが楽しんでおられるレースにエントリーして当然優勝! あたりまえやがな! そしてヒンシユクかっでもお構ひなしで、そのレースのエントリーは遠慮や恐怖で次からエントリーしてくださらないレースがなくなるみたいなことが実際にありました。 そのころは今ほどタイム制限や速すぎペナルティーが充実していませんので、自分たちの書類作成のためにそんなレースばかり選んで出まわってはいりました。 抜く際に接触して転倒すると、初心者つかまえて、こかされた! と又言ひまわりました。そして、有名選手になられました。 こんなんでいいのか? いつかキンスポから眞の速さ、強さ、素晴らしい人間性を持つチャンピオンの誕生を夢見で。 先ずは痛風治します! では最終戦で! やすひこ

**(^0^)/なれるより習え! KSLライディングセミナー 受講生募集!!**

